

2024年 9月6日 金曜日
(令和6年)

知の技創造
ものづくり大学発

▷ 106 ◁

1980年以前に建てられた建物には、構造種別（木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など）にかかわらず耐震性能が低い可能性が高いです。木造に関しては81年～2000年に關しては100%の調査が必要があります。

■耐震診断

仕様規定が一部異なるため耐震性能が低い可能性がありま
す。

建物の地震に対する性能を耐震性能といい、既に建っている建物の耐震性能を把握

大地震時には耐震性能が低いと建物は地震の揺れに耐えずに倒壊してしまいます。建物が倒壊すると命、生活、歴史などいろいろなものが失われます。失われたものを断ち切る方法として耐震診断があります。耐震診断は、建物の図面や調査から大地震時に建物が倒壊するかどうかを判定するものです。耐震診断を行うことによって大地震時の

に建物などのような状態となつてしまつのかを把握することができます。耐震診断により大地震時に倒壊する可能性があると判定された場合には、耐震性能を向上させるための耐震補強設計に進みます。

ことで耐震性能を確保します。耐震診断、耐震補強設計、耐震補強工事が耐震性能の把握から確保までの一通りの流れとなります。

ま建物に倒壊しないことで人の命が守られます。新築の場合には建築基準法では人の命を守ることを目標です。しかしこの場合に建物は倒壊しませんが大きな被害を受けます。地震後に建物に引き続き住む

り壊して建て替えるしかない場合もあります。

大地震後も引き続き住み続けられるよう、補強量を多くすることで地震時の被害を軽減に抑え、少ない改修で自分の建物で暮らすことを目標とするのもできなくなります。

があります。怠ってしまつて見た目はきれいであつても耐震性能が低い建物となつてしまひ、大地震により建物は倒壊してしまいます。また、耐震補強工事はリフォーム工事で一緒に行つて費用が安くなります。

芝沼 健太
建設学科講師

大切なものを守ろう

耐震性能の目標を決めます
一般的には建物が倒壊しない
ということを目標とします。

ことは難しい可能性が高く、一方で、そのような建物に住むためには大きな改修が必要で、耐震性能が低い可能性が高くなる場合があります。耐震診断を行う必要

には補助金が出ることも多く、費用の負担は少なくなっています。耐震補強設計や耐



しばぬま・けんた 工学院大学卒業。宇都宮大学大学院修士課程修了。修士（工学）。有限会社設計工房佐久間を経て2024年より現職。専門は、木質構造、耐震診断・耐震補強。

場合があります。近年では81年から2000年までの建物についても補助金が出る場合もあります。